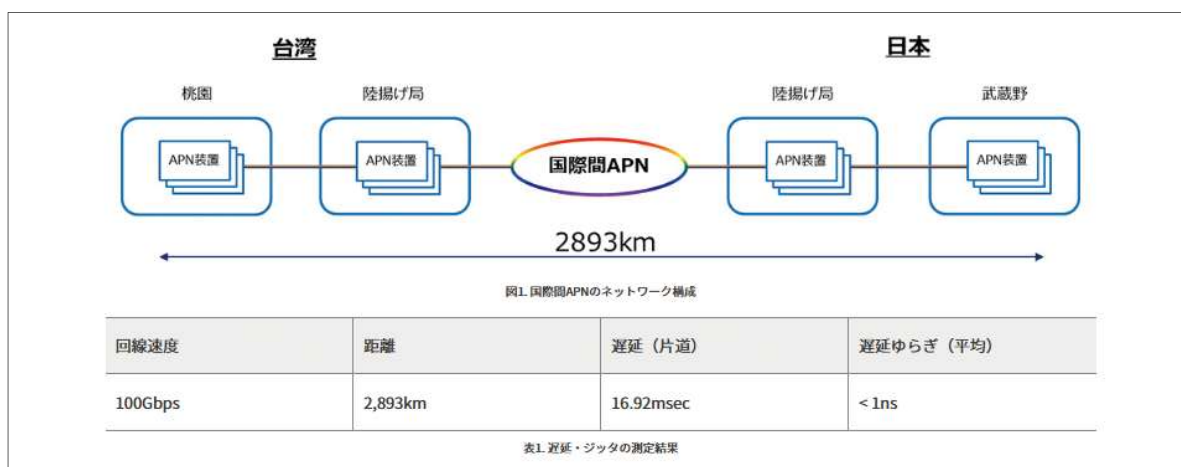


図表5-2-33 ▶ 日台間APN開通セレモニーの様子



出所：NTT「NTTと中華電信、世界初のIOWN国際間オールフォトニクスネットワークを開通」（2024年8月29日）

図表5-2-34 ▶ 遅延・ジッターの測定結果



出所：NTT「NTTと中華電信、世界初のIOWN国際間オールフォトニクスネットワークを開通」（2024年8月29日）

APNの開通により、日本と台湾に拠点を持つ半導体メーカーなどの製造業が、災害時のデータバックアップやレプリケーションを高速かつ安定的に行うことが可能となる。また、大規模言語モデル「tsuzumi」の活用を通じて、AI技術の発展にも寄与する。

さらに、2025年に開催された大阪・関西万博では、このAPNを活用した「超歌舞伎(CHO-KABUKI)」公演が行われた。公演では、日台間の出演者がリアルタイムで共演する新たな舞台演出が実現され、通信技術がエンターテインメントの分野にも新たな可能性をもたらしている。

日台間APN開通は、単なる技術革新にとどまらず、国際社会における通信ネットワークの進化を象徴するプロジェクトである。NTTと中華電信は、以降もパートナーシップを強化し、グローバル規模でのIOWNビジネス展開を推進する方針を示している。特に、アジア地域における次世代通信インフラの構築を加速させることで、持続可能な未来社会の実現に向けた貢献が期待されている。